

令和元年度 博物館と大学職員等との連携活動一覧

行事名	実施日(期間)		場所	事業概要	学生等参加者	連携先
インターンシップ事業	平成30年度	～	三重県総合博物館	企画展の来館者対応・展示撤収作業	3	三重大学 キャリア支援センター(就職支援チーム) インターンシップ担当
ウミガメ類の研究	平成27年度	～	三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾・熊野灘に漂着したウミガメ類の研究(担当:標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存)	—	生物資源学部三重大学 サークル「かめっぷり」
スナメリ類の研究	平成27年度	～	三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾に漂着したスナメリ類の研究(担当:標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存) ※平成30年度からはスナメリネットワークとしての活動も含む。	—	生物資源学部三重大学 サークル「かめっぷり」
三重県総合博物館収蔵庫へのAPG体系導入について	平成30年度	～		三重県総合博物館収蔵庫へのAPG体系導入について	—	教養教育院
地域連携ゾーン文化観光交流研究会	平成29年	～	高野尾花街道朝津味	伊勢別街道を中心とする文化・観光振興のための会議	—	教育学部
ジュニアドクター育成塾	平成30年度	～	—	小学校5・6年生および中学生を対象に特別な教育プログラムを提供し、その能力等の更なる伸長をめざすもの。 ※平成31年度についても、広報協力のみ	—	教育学部
教育特別研究 I B(大学院講義)での展示見学	1月11日(土)		三重県総合博物館	教育学研究科の各専攻生が三重県総合博物館を見学し、基本展示等を活用した授業案を考案し、発表する。	6	教育学部
三重県総合博物館協議会 評価部会の外部委員	平成30年度	～	三重県総合博物館	三重県総合博物館の活動と運営について、2018年度の取組実績をもとに評価を行う。	—	生物資源学部
教養教育「生物学」ゲストスピーカー	5月21日(火) 5月23日(水) 5月24日(金)		三重大学	多様性の生物学について	—	教養教育院
人文学部博物館実習の見学・技術実習(3回)	6月12日(水) 6月19日(水) 6月26日(水)		三重県総合博物館	①博物館の施設・活動の概要講義及びバックヤードの見学研修 ②博物館の展示及び保存環境に関する講義及び施設・設備の見学研修 ③博物館所蔵の古文書の整理法及び現状記録の取り方についての実習	20 20 20	人文学部
教養教育・教養統合科目・地域理解・日本理解「三重学 食と観光実践」における博物館見学対応	6月15日(土)		三重県総合博物館	東紀州の食文化に関する博物館見学	17	地域人材教育開発機構
木村妙子研究室の見学	7月17日(水)		三重県総合博物館	館内見学	37	生物資源学部
チェンマイ大学(タイ)看護学部の学生の訪問	5月29日(水)		三重県総合博物館	館内見学(タイ研修生7名、大学教員5名、学生1名)	13	医学部
花粉媒介の昆虫類に関する研究	平成30年度～			チシマイワブキ属の3種について花粉媒介を行う昆虫類を関係について研究する。日本生態学会で報告あり(2019)。	—	教養教育院
教養教育・教養統合科目・地域理解・日本理解「日本理解特殊講義 三重の歴史と文化」ゲストスピーカー	7月24日(水)		三重大学	歴史学から見る三重の「食」	29	地域人材教育開発機構
みえ水産フォーラム「海の生き物の不思議」	8月25日(日)		三重県総合博物館	小学生の親子を対象にした、専門家による分かりやすい説明を行います。(参加者数70名)	—	生物資源学部
みえむ未来創生フォーラム2019「三重の自然」	10月27日(日)		三重県総合博物館	オーストリア・ウィーン大学教授ヨハン・ホーエネガー氏の講演と、三重県内各地の実践の報告	38	生物資源学部
ジュニアドクター育成塾	11月8日(金)		—	科学技術振興機構の「さくらサイエンスプログラム」を受けた、ホーチミン市師範大学学生・教員受け入れプログラムの一環としての見学(学生10名・教員1名)	11	教育学部
「体験！実感！三重の自然！～自然環境リテラシー学のすすめ」	12月14日(土)～	12月15日(日)	三重県総合博物館	自然環境リテラシー学を学んだ学生による報告などを行います。(参加者194名)	—	生物資源学部

	教育実地研究基礎	12月21日(土)	～2月24日(月・振休)	三重県総合博物館	教育学部社会科教育コース1年次、教育実地研究基礎受講生に来館者対応の補助を体験していただき、子どもとの接し方などへの考察を深める。(企画展「1960年代の熱気を未来につなぐ」)	16	教育学部
	分子で探る海の恵み～三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻 海洋生命分子化学講座 修士論文発表会～	2月13日(木)		三重県総合博物館	生化学・分子生物学などの手法を用い、さまざまな海の生物資源の活用などに迫る。通常大学内で行う修士論文の発表会を三重県総合博物館内で実施し、多くの皆さんに大学の教育とその成果を知っていただくための博物館活用の試行例とした。	55	生物資源学部
	みえむ熊野市かがくこうさくフェスタ	2月23日(日)		熊野市文化交流センター	学校等の教育機関と連携して、参加体験型の学習プログラムを通じて地域の子どもたちに自然や科学をに興味を持ってもらう機会を提供した。(参加者1387名)	—	自然環境リテラシー学、生物資源学部
	当館収蔵資料を用いた地域の昆虫相の変化に関する研究			三重県総合博物館および県内各所	当館収蔵昆虫資料(整理作業を含む)を用い、現在の調査と比較することで、県内各所の自然環境の変遷を調査する。	—	生物資源学部・教養教育院